

新型コロナウイルス感染防止対策およびバッジテスト参加同意について

(公財)日本水泳連盟主催バッジテスト検定開催にあたり、以下の留意点を守っていただけますようお願いいたします。バッジテストに参加・引率される方は健康チェック表・参加同意書の提出をお願いします。遵守されない参加者には、他の参加者の安全を確保する観点から、参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがありますのでご了承ください。

『バッジテストにおける留意点』

- (1) バッジテスト前2週間において、以下の事項に該当する場合は受検を見合わせる。
 - ・平熱を超える発熱
 - ・咳(せき)、のどの痛みなどの風邪の症状
 - ・だるさ(倦怠感) 息苦しさ(呼吸困難)
 - ・臭覚や味覚の異常
 - ・体が重たく感じる、疲れやすい等の症状
 - ・新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
 - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- (2) 水泳用具・飲食物・ストレッチマット等は、専用の物を用意し共用しないこと。
- (3) 公共交通機関を利用する場合はマスクの着用、人との距離などに注意すること。
- (4) 施設入退館時の手指の消毒と入館時の検温を行なう。随時こまめな手洗い、手指消毒を実施すること。
- (5) 練習中、検定中以外は各自でマスクを用意し着用すること。
- (6) 更衣室滞在時間は最低限にすること。
- (7) 大きな声での会話や指導をしないこと。
- (8) 参加者・関係者等との距離を確保すること。(ソーシャルディスタンス)
- (9) 検定終了後は速やかに退館すること。
- (10) 鼻水・唾液などのついたゴミは各自ビニール袋に入れ、その他のゴミも全て持ち帰ること。
- (11) トイレ使用は密集をさけるため間隔を保って待ち、使用後は必ず石鹸等での消毒をすること。
- (12) バッジテスト終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、速やかに主催者に濃厚接触者の有無等について報告すること。
- (13) その他、必要に応じて進行員の指示に従うこと。

※参加者すべての安全を最優先します。会場内に感染者が確認されましたら、その時点で検定を中止することがあります。